

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月11日(木)

事務事業		消防行政管理事務			担当課	消防総務課	担当係	総務係	管理番号	50111
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務			
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市消防本部表彰規程			
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		各関係組織に加盟し広域的な（全国、関東、埼玉、第3ブロック）意思の統一と融和協調を図り、消防の情報交換を積極的に行うことにより、円滑な消防業務を遂行している。								
目的 ※何のために		深谷市消防本部の組織の円滑な運営のため。								
対象 ※誰・何を対象に		消防本部、関係機関・団体、市民等								
手段 ※どのように		「消防概況と統計」の作成や各種表彰事務を実施する。								
成果 ※何を求めるか		関係機関・団体、市民等に広く消防に対する理解を深めて頂くとともに、円滑な消防業務を実施する。								
執行体制		□職員 □一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア □NPO等 □その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	消防行政管理事務費	641,920
本事業の 主な業務		・ 消防本部全体に係る計画の策定及び調整					・ 消防概況と統計の作成事務			
		・ 公印管理業務					・ 表彰事務			
		・ 消防組織及び職制編成事務					・			
		・ 消防計画の作成					・			
		・ 消防予算の総括					・			
		・ 消防長会事務					・			

2. 事業費（投入コスト） ※令和7年度は決算見込み額です。 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	736,000	736,000	736,000	739,000	816,000		
	決算額	648,147	645,300	643,598	641,920	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	147,000	156,000	161,000	159,000	174,000	
		一般財源	501,147	489,300	482,598	482,920	642,000	
人件費	従事職員数（人）	0.75	0.75	1.25	0.95	1.30		
	人件費相当試算※	5,902,168	6,007,624	10,277,802	8,053,240	11,451,036		
総事業費試算		6,550,315	6,652,924	10,921,400	8,695,160	12,267,036		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
		目標値の算定根拠/実績値の出所 実績値の算出式							
活動指標 1	「消防概況と統計」の事業実績	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績値		1.00	1.00	1.00	1.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		これからの指標を示すため年に1回策定 / 実施回数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	「消防概況と統計」周知状況	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予定周知先 / 実績/予定周知先						
	実績値の算出式								
成果指標 2	表彰（感謝状）贈呈実績	目標値	人						
		実績値		4.00	2.00	12.00	4.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市民の功績への贈呈のため、目標値はなし / 実績						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防組織の円滑な運営のため、全国消防長会に加入していることのほか、深谷市消防本部の「消防概況と統計」を作成し、市ホームページへ掲載して広く情報発信した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	深谷市消防本部表彰規程に基づき、消防協力者4名の表彰事務を実施した。 また、全国消防長会などに加入することで、会報誌、電子通知などを基に情報収集し、先進事例や特異事例を調査研究することで、当消防本部の事業企画や課題解消に役立った。
			評価者 課長補佐兼総務係長 倉上 正

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	「消防概況と統計」は、市ホームページに掲載し、消防活動を広報することで、市民の防災意識向上に繋げている。 また、消防組織再編に伴い、年間の検証を実施したところ、係の新設や増設により事務の効率化が図れ、より円滑に業務が遂行され、組織の取組が効果的に執行されている。
			評価者 課長補佐兼総務係長 倉上 正